

令和2年度 第1回葛飾区男女平等推進審議会 議事録

日 時：令和2年7月10日（金）午後2時00分～午後4時04分

会 場：葛飾区男女平等推進センター 3階洋室A

出席者：大山委員、岡村委員、戒能委員、黒崎委員、齋藤桂三委員、齋藤真弓委員、坂井委員、佐々木委員、島野委員、杉江委員、鈴木委員、谷本委員、千田委員、谷茂岡委員、柚木委員（五十音順）15名出席

事務局：坂井総務部長、藤井人権推進課長、加藤男女平等推進係長、木村人権施策推進係長、男女平等推進係員2名、株式会社グリーンエコ児玉

傍聴者：3名

議 題：

- (1) 政策・方針決定過程への男女の参画状況調査結果（令和2年3月31日時点）について 資料1
- (2) 葛飾区男女平等推進計画（第5次）進捗状況調査結果（令和元年度分）について 資料2
- (3) 「第6次葛飾区男女平等推進計画等」の策定について 資料3～資料7

<事前送付資料>

資料1：政策・方針決定過程への女性の参画状況調査結果（令和2年3月31日時点）

資料2：葛飾区男女平等推進計画（第5次）進捗状況調査結果（令和元年度分）

資料3：第6次葛飾区男女平等推進計画策定の基本的な考え方

資料4：葛飾区の男女平等に関する現状

資料5：男女平等を取り巻く国、都、区の動き

資料6：「葛飾区男女平等に関する意識と実態調査」調査概要

資料7：「葛飾区男女平等に関する意識と実態調査」調査票等

資料8：令和2・3年度葛飾区男女平等推進審議会開催日程（案）

参 考：葛飾区男女平等推進計画（第5次）概要版

<当日机上配布資料>

- ・葛飾区男女平等推進審議会名簿
- ・葛飾区男女平等推進条例
- ・葛飾区男女平等推進審議会規則
- ・葛飾区男女平等推進審議会運営要領
- ・葛飾区男女平等推進センター 男女共同参画スケジュールノートブック
- ・葛飾区人権施策推進指針（改訂版）
- ・葛飾区人権施策推進指針（改訂版）概要版
- ・（今回から新しく就任した方のみ）男女平等推進計画（第5次）本体

1 開 会

2 委員委嘱

委員改選に伴う委員委嘱

3 区長挨拶

4 「第6次葛飾区男女平等推進計画」等の策定に係る諮問

区長が葛飾区男女平等推進審議会へ「第6次葛飾区男女平等推進計画」等の策定に係る諮問を行った。

5 委員紹介

委員及び事務局紹介

6 葛飾区男女平等推進条例及び葛飾区男女平等推進審議会について

葛飾区男女平等推進条例、葛飾区男女平等推進審議会規則、葛飾区男女平等推進審議会運営要領に基づき事務局が説明

7 会長及び職務代理の選任

「葛飾区男女平等推進審議会規則第2条第2項」に基づき、会長の互選を行い決定した。
また「葛飾区男女平等推進審議会規則第2条第4項」に基づき、会長より職務代理を指名いただき決定した。

8 議 事

(1) 政策・方針決定過程への男女の参画状況調査結果（令和2年3月31日時点）について

事務局より、資料1について説明

会 長：ありがとうございます。ただ今ご説明を伺いましたけれども、ご質問、あるいはご意見ございませんでしょうか。国のレベルでもお聞きになったことがあると思いますが、非常に有名な「202030」と、2020年までに女性の参画率を3割まで上げるという国の目標があり、到達できないというので、なぜか2020に実現しないで少し時間をかけてというのでしょうか、これは葛飾区だけではなく、日本全体としても参画率が、国会議員の比率などが進まないという状況がございます。葛飾区としても増えたところがありますが、ゼロになったり減少したりというところで、いかがでしょうか。どんなことでも結構です。コメント、あるいは質問いただければと思うのですが。はい、どうぞ。

委 員：6番の防災会議、23番の都市計画審議会、都市計画審議会は昨年と人数は変わりませんが、防災会議は3名減っています。先ほどの冒頭青木区長からお話があったとおり、さまざまな災害がこれからさらに起きてくる可能性があると思います。専門的な知識が必要などころだと思いますが、例えば区長が言われたように、災害の対応のほかにその後のフォロー、

避難所の運営とか、さまざまな面で女性の目から、女性の立場からのそういったことがこれから特に必要になってくると思います。女性委員の数が増えないとか減っているというのは、感想ですけれども、もう少し女性の意見が反映されるような、具体的には人数が増えていくような、逆に減らさないでと思ひまして質問させていただきました。

会長：ありがとうございます。この防災会議の問題は、ご存じのように東日本大震災を期に、やはり避難所運営などで女性の参画が不可欠であるということで、社会的な大きな問題になったというものです。葛飾の場合は6番の防災会議が12%で女性委員比率が大変低いですが、何か工夫をしていることを前お伺いしました。そのことも含めて、葛飾区の状況をご説明いただければと思います。いかがでしょうか。

事務局：まず、防災会議の人数の減少につきましては、その他のところで3名減少しております。こちらは、学識の経験者の方が変更になったことなどに伴う3名減と聞いています。防災会議については女性のための防災会議、講座、こういったものを開催するなど、女性の視点を取り入れてという活動を活発にしているところでございますが、防災会議で人数の増減が年ごとに出ているのも事実でございますので、ご意見あったことを踏まえまして、所轄課のほうにも伝えたいと思います。

会長：委員いかがですか。よろしいですか。

委員：防災会議は、消防署とか国の方の防災会議では人数が多くなっていますが、その後の団体も出ているので、女性が少ないです。各職務の署長さんたちがみんな出ており、民間といっても公職の人がほとんどですから。その代わりに災害には女性の防災会議をやらなければいけないということで、女性だけで防災会議を申し出て、委員会をつくりました。区の防災会議をやっております。

会長：ありがとうございます。そういう努力をしていただいておりますが、やはり総数50名の内に1割小しかいないというのは、実際の災害を考えますと、これは避難所だけではなくて、防災という観点からいっても、予防という観点からいっても、もう少し女性が当然増えていくべきだと思いますので、葛飾区のご努力をお願いします。講座も一生懸命やっておりますが、女性委員が増えていくのに反映しないというところですよ。そこをご検討いただければと思います。ほかにご意見、今の問題でも結構ですし、他の委員会についても結構ですが。はい、どうぞ。

委員：これらの目標に向けて、どのような働きかけをなさって、このような結果になっているのかをまず一つお聞きしたいと思います。あと二つ目としては、今、防災会議については女性だけの会議も分科会みたいな形で開いて改善しようとしてされているということは分かりました。けれども、数字だけで見ますと6、7、8、23、30番辺りが10%台ということでかなり低く、所管の部を見ますと、地域振興部、都市整備部と絞られてきているように表では思えるので、消防の署長さん等、そういう方の男性が多いというのは分かるんですけども、部のリ

リーダーがどこまでこれを意識して運営なさっているのか、その部の雰囲気の問題なのか、リーダーシップとしてどこまで求めているのかというところまで、できる範囲でちょっとお答えいただけますでしょうか。

会長：ありがとうございます。大変大事なご意見だと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

事務局：男女平等を進める会議を、部長級の会議の他にも課長級の会議を庁内に設けております。この資料と同様の資料をその会議の中でも皆さんに提出をして、男女の割合が同じようになるようにということで話をさせていただいています。ただ、どうしても団体からの推薦だと、例えば消防の代表とかいうと、やっぱりどうしても男性の方が多くなったりというようなこともございますので、そういうところは、ある程度これはもうやむを得ないとは思いますが、今日も公募区民の方は男女2名ずつということになっています。そういった所ではなるべく女性の方を多くして、全体として半々に近づけていくようにという話を部長級の会議でも課長級の会議でも同様にさせていただいているというのが状況です。あと、前に福祉部の部長もさせていただいていましたが、民生委員さんは女性のほうが7割ぐらいもう少し多いですかね、女性が多いんですけども、民生委員さんが例えば会議とか、いろんな会議の代表に入ってくださいときも、役員の方は男性の方が多く、会長が出ているというところが多いです。こういったような審議会に誰か推薦を出してくださいというのを会長会で当たったりすると、こういった状況を見ながら、なるべくなら女性をお願いしますとか、そういったようなことで依頼を受けていますので、女性の推薦をお願いしますといったような話もしながら、個別の民生委員さんの会議の中でもそのような視点を取り入れて推薦を出すようにといったような努力を、今度は各それぞれの所管でそういったような努力もさせていただいているという状況でございます。

会長：委員いかがですか。

委員：分かりました。そういった働きかけがなされているということ、公募委員等のところで調整していくということですね。ただ数字としては、ちょっと低い部のところは区民としては気になるころではございますので、その点また次のお話で、事情は分かっていますが、数字での見方をすると足りないのではないかとということも大事かと思えます。ありがとうございました。

会長：ありがとうございます。それでは、他に女性の参画状況調査について、ご意見、ご質問ございませんか。よろしいでしょうか。少しずつでも参画率を上げていきたいと。それは、どうしてそれが必要なのかということをお納得しないと進まないのではないかなというふうに思います。ご存じのように、世界的にも日本は非常に、121位でしたかね、去年の数字が、女性の地位を測る数字で、GGIというのがありますけど、最低を示したということがございまして、女性が参画することによって、どう変わるのかというイメージがもっとはっきりと示していく必要があると思います。それでは、もしご意見がないようでしたら、次の議題に

進んでもよろしいでしょうか。それでは、第5次葛飾区男女平等推進計画進捗状況調査結果、これは資料の2になりますか、そちらをご覧くださいと思います。ご説明よろしく願いいたします。

(2) 葛飾区男女平等推進計画（第5次）進捗状況調査結果（令和元年度分）について

事務局より、資料2について説明

会 長：ありがとうございます。コロナ禍の影響で延期になった講座もたくさんあったように思いますが、ただ今のご説明、第5次男女平等推進計画進捗状況で令和元年度分のご説明でした。ご説明いただかなかったところでも構いません。ご質問やご意見ありましたら、どうぞ。

委 員：9番の固定的性別役割分担意識にとらわれない職業観の育成という計画事業で「国際ガールズ・デー企画、女の子たちの今～セカイとニッポン」第1回セカイの女の子について考えよう「夢をあきらめない！～映画『ソニータ』をみる～」というのと、第2回目が翌日の10月6日、若年層に向けた啓発、若年層を対象としてデートDV、交際相手からの暴力の防止に関する講座等を行い、人権尊重意識を育みますということで、2回目がニッポンの女の子について考えよう、1部、2部となりまして、こちらはガールスカウト団体と保護者の参加があったということで、10月11日の国際ガールズ・デーに併せて実施予定ということで、こちらはたくさんのガールスカウトの若い女性たちがいらして。ここもやっぱり参加者は若年層が少なく、それで、私9番のほうを先に見て、40歳代の男女とシニア層が多かったということで、若年層を集める手だてを考えたいって書いてらっしゃいまして、次に71番、やはりガールスカウト団員と保護者の参加があったということですが、こちらも若年層を集める手だてを考えたいということで、いろいろお考えになっていると思いますが、この近くに高校がありますし、新小岩には大学もありますよね。そういう若い女性の本音というか、リサーチをするというようなことはどうでしょうか。若い女性が今何を求めている、憧れの人、モデルにしている人など彼女たちが現実の社会で求めているかといったようなリサーチをして、それからベストを探すというようなことはできないのかなと思いました。それと『ソニータ』というのは、どこの国の映画ですか。南米か何かかなと思うのですが。

事務局：『ソニータ』につきましては、アフガニスタンからの難民として、イランへ逃れた少女のお話でございます。これは2016年、グランプリ等の賞を取った映画となっております。

委 員：そうですか。これはやっぱり世界とニッポンということで、例えば世界には、変な言い方ですけど、恵まれなくても頑張っているというような趣旨の映画なのではないでしょうか。固定的性別役割分担意識にとらわれずじゃなくて、もっと大きな範囲で世界の女の子にスポットをあてたという。

会 長：これは日本映画ですか。アフガニスタンのソニータさんをテーマにして、日本でつくられた映画なのか。

杉江委員：アメリカの映画でしょうか。

会 長：それとおっしゃったのは、やはり若年の方々の女性の方々の意識とか関心の持ち方。

委 員：そうです。それを、もっと彼女たちが求めるほうに。企画があったほうが引きつけるんじゃないかなと思いました。映画もアフガニスタンの難民の少女のお話もちろんいいのですが、例えばオランダとか北欧の日本よりずっと男女平等な国の女性たちが、女の子たちがどういうことをしているとか、そういうものを見たいなとか、見せてあげたいなっていう気がします。

委 員：グリーンエコの児玉さんの役割のご説明があまり聞き取れなくて、全然分からなく帰るわけにいかないの、申し訳ありませんけど、どういったお役目というか役割の方か。申し訳ないです、皆さん。

事務局：グリーンエコの児玉さんは、第6期の計画の策定支援業務を受託している業者さんで、主任研究員の方です。

委 員：そうなんですか。じゃ、一緒にこの計画の策定に関わると。

事務局：そうですね。審議会に同席させていただいて、策定業務を支援していただくということになっております。

会 長：リサーチとかそういうものも含めてと理解してよろしいですか。

事務局：そうですね。そのとおりでございます。

会 長：事務局をバックアップする役目ですね。

委 員：初めてお聞きしたので。ありがとうございます。以上です。

会 長：71番と9番ですね、若年女性を対象とした企画でもう少しリサーチなど、葛飾は大学もありますので。それから、高校生もそうですね。ニーズに、あるいは彼女たちの気持ちにフィットするような企画があれば、ここだと参加が若年女性を対象なのに、その肝心の方々が少ない。年代の高い方の参加になってしまうというところを再検討が必要ではないかご意見と思いますが、事務局から何かございますか。

事務局：委員からお話いただいた内容につきましては、事務局もすごく悩んでいるところでございます。やはり若年層からのDVに対する認識だとかを培っていくというのは大切なので、より多くの方に参加していただきたいということで企画はするのですが、中々難しいかなというところ。若い女性のリサーチ等を行って、何を求めているか、どういう風にゲストを

招くかというところについては、検討していただきたいというお話でございましたので、今年度も若年層というところで教育委員会にも話をしたりとか、いろんなことは考えているんですけれども、なかなか結果として、参加人数につながっていないというのが現状でございますので、引き続き検討させていただいて、また皆さんのほうで何か案がございましたら、ぜひお声かけいただきたいかなと思いますので、よろしく願いいたします。

会 長：委員の皆さまのアイデアとか、それから情報ですよ。ぜひお寄せいただいて。せっかくこういう企画を進めるということですので、実質的な参加者ですね。待っているだけではというところもあるかもしれません。こちらから出かけていくとか、デートDV講座なんていうのはその典型ですけども、もう少しアウトリーチといいましょうか、こちらから積極的に働きかけていく、出かけていくということも大切だと思います。それから企画が大人が企画するのではなく、肝心の当事者の方々が、ここは、葛飾はもう少しそういうのがあってもいいかなというふうに思います。本当にその人たちじゃないと、どういうことを望んでいるか、期待しているかって、あるいはもう関心が全然ないかもしれないし、でも、何人かはいらっしやるというふうに思いますので、そういう方々と一緒に企画していくというようなこともあってもいいかなとは思っております。ありがとうございました。それでは、ほかの方で。

委 員：27番の新規に始められた講座ということで、非常に好評で皆さんが100%好評だったということです。この講座これからも続けられていくと思いますが、この防災講座、ただお話を聞いて終わるのではなく、防災士の資格で今年度の葛飾区の危機管理課の予算で500万円、防災士の資格を取るのに6万円近くかかるのですが、受講料と受験料が全額負担してくれるという今年度予算が付いています。昨日危機管理課長に電話したら、これは区民全員が希望されるからといって、全員ではないと聞きました。予算500万円なので、各自治長会から1人推薦受けた人を対象にすると。ただ、500万なので今葛飾の自治長会240ありますので、3分の1ですね。80名として、1人あたり6万円として約480万プラスアルファかかりますので、あと講師を呼んでくる講師料とかもあると思いますので、限られた人数ですけども次回から、6次計画のときからは、この防災講座をやるのであれば、その受けた方が今度は次に防災士の資格を取れるような、危機管理課とタイアップしてされているものですから、そのようにしたほうがより皆さん身についた、より生活に生かせる、そんな資格を受けるための素晴らしい講座になると思えました。

会 長：ありがとうございます。何かございますか。

事務局：ありがとうございます。こちらの女性のための防災講座につきましては、地域における防災活動において女性のリーダーを育成しようという視点を持って実施しているものでございます。今ちょっと防災士という、いざというときに実際に動ける方を、実践的な人を育成していこうというお話でございましたので、所管課にも伝えていきたいと思っております。ありがとうございました。

会 長：ありがとうございます。それでは、どうぞ。

委員：委員がお話しされたことと関係するんですけれども、71 番の講座とそれから先ほどの 9 番の話ですけども、固定的性別役割分担にとらわれない職業観の育成の対象がなぜガールなのかということが、私の中では大変ちょっと違和感がありまして。これは最近男性学とか、男性の生きづらさみたいなものもちょっと話題にはなっていますが、普段男子学生とも接することがあるので、男子は男子でいったん就職したら、定年になるまで辞められないとか、絶対に働き続けなければいけないという思い込みが、また彼らを苦しめている部分があるので、この対象は必ずしも若い女性を対象でなくてもよいのではという気がしております。この 9 番と 71 番、もちろんガールズ・デーでガールスカウトとかを対象にすると、たぶん対象者は集まりやすいでしょうし、一番アプローチはしやすいと思いますが、ここで取り残されてしまいがちな若い男性というのも対象にした講座というのも検討していただきたいなと。せっかく 8 の講座の男女共同参画講演会では、元高校教師で今主夫をされている男性の方をせっかく招いているので、でも、こちらの職業観の育成では女子だけを対象というのは。それから DV についても女子だけを対象というのに対してちょっと違和感があるので、この辺を検討していただければと思います。

会長：どうぞ、事務局から。

事務局：大変貴重なご意見ありがとうございます。確かに性別の固定的な役割につきましては、女性からの視点だけではなく、男性から見ても同様な課題があるということは認識しております。今後の講座等を組み立てる際に考えながら進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

会長：今のご指摘はですね、若い方々だけではなくて、どうしてママだけなのっていうのがずっとここでは議論されてきたことです。パパは一体どこいったのというようなこととかですね。そういう男性を対象とした講座はよくよく見ると、あまりないのかなということだと思います。貴重なご意見をいただいたので、ぜひ今後の企画に生かしていただきたいと思っております。ほかにはございませんでしょうか。どうぞ。

委員：若い世代では、ジェンダーフリーというところが大事なので、女性ばかりというのもどうかなというのがあります。ジェンダーフリーっていう言葉を意識していくということは、大事だと思います。あとは、若い世代はやっぱり楽しくないと来ないので、楽しめるものでないと、楽しいことがいっぱいある活動的な人たちを呼び込むには、やっぱりこれならやってみたって思えるものがないと駄目だと思います。高校生の子どもがいるので考えてみると、ネットであるとか、スマホを使ったアプリであるとか、そういったものを絡めながらのイベントでないちょっとどうかなというのがあります。内容として、ファッション系とかジェンダーフリーのファッションであるとか、おしゃれな世代ではあるので、男女ともに。そういった切り口や、ゲーム系。クイズラリーとかはよくやってらっしゃると思うんですが、今は謎解きとか脱出ゲームとか、室内系のイベントであればそういったもの、また自分たちが自撮りをして、自分をいかにかわいく、かっこよく見せるかというのが大好きな世代ですの

で、そういった自撮りをしてすごくきれいになったものを何か発信するとか、発想をしていかないと駄目なのかなと思ってます。全然企画とは違うんですが、青戸のまち歩き人生ゲームというのに参加したときに、確かタカラトミーさんの人生ゲームで絡んではいるんですが、商店街の人であるとか、各学校であるとか、あと企画には、確かに短大か大学か分からないんですけども、若い世代が企画に関わっていたようです。いろんな世代が参加して、本当に子どもからかなり年配の方までが青戸周辺を歩き回っているところでクイズをやったり、ちょっとしたイベントをやったりして盛り上がっていたので、巻き込み方を聞きながらひとつテスト的にやってみてもいいのかなと思いました。あとは例えば 29 番、ワークライフバランスに関する講座、講演会とか、ほかにもあるんですけど、参加者数がなくて満足度 100%って書いてあるのは、ちょっとデータとしていかがなものかと思います。5人で満足度 100%と言われても、まあそれはね、みたいになってしまうので、途中報告ではあると思うんですけど、最終報告では参加者数を入れていただきたいです。なぜなら満足度が高い内容を参加者以外に広める仕組みっていうのがやっぱり必要なんじゃないか、どうしても来れる人っていうのは限られてくると思うんですね。こういったコロナや天気、悪天候もありますので、これだけ満足度が高いものをいかに来れなかった人にも広めていくか、オンラインを使っていくなど、テスト的にでも結構ですので、こういう機会に何かトライしてもらえないだろうかと思います。やっぱりこんないい講座いっぱいあったんだって、私も気づきがあって。でも、やっぱりちょっと実際に行くとなると、こんなに都合は付かないけど、後で見たり、要旨がまとまったものを見られたりしたらいいのになと思いました。最後、三つ目は相談事業で、電話相談をやっている、今後対面にするっていうのが 78 番の女性相談のところでありましたが、メールや LINE の相談というのはどうなっているのでしょうか。コロナのときに結構 LINE でも声が拾えるようにしようということで、女性に限らず、特に子どもからのヘルプを拾う話もあったと思いますが、葛飾ではどういう動きがあるのか教えてください。

会 長：よろしいですか。三つお話がありましたけども、いかがでしょうか。

事務局：まず、ジェンダーフリー、女性だけでなく、男性のほうの講座の充実をですが、何人かの方にお話しただいておりますので、所管の方にも持ち帰って検討は進めたいと思います。あとアイデアとして、楽しくないと講座には来ないということで、いろんなアイデア今出させていただきました。ネット、アプリ、イベントを絡めたもの、切り口をいろいろ考えてみてやったらどうか。また、若年層に企画に関わってもらえるのはどうか。この辺りも職場に持ち帰り、検討していきたいと思っております。それから、実績報告の内容について、ちゃんと数値が載っていたり載っていなかったりと、統一感がないのも事実でございますので、こちらについては次回の報告のときに所管にも伝えながら、見やすい報告内容にさせていただきたいなと思います。それから、講座、講演会等のオンライン化についてですが、コロナの関係でオンラインでというのは検討というイメージはしておりますが、講師の方の著作権だとか、その辺が整理できてからなのかなということなので、すぐというのは難しいですが、今後こういうもので広くやっていくのも手段の一つなのかなと考えております。それから、DV相談のメールや LINE ですけれども、実はコロナで対面ができないときに、メールや LINE といった手法も考えましたが、特にDV相談につきましては、加害者と被害者が同じ家にい

るところで、あと本人かどうか分からない。被害者なのか、加害者が連絡を、本人として連絡してきているのか、悪いように考えると、加害者が装って相談してきているのか、それで情報のやり取りをやってしまったがために被害が出てしまうとか、区としては慎重に対応していこうかなと考えております。ただ、国ではDV相談プラスでオンラインを使った形を行っていたので、その状況も見ながらということなのです。

会 長：相談のところは、かなり慎重に進めないと、特にDVや暴力、そういったのはということがあって、内閣府の結果などを参考にしながら、SNSへの移行というのは、なかなか難しいところもあります。ひとつ広げていく手法だとは思いますが、それでは、もっとたくさんあるんでしょうけども、終了時刻に、4時に、もうあと十何分しかなくなってしまいました。また次の機会にご意見をたくさんいただければと思います。それでは、次の議題に進ませていただきます。議題の3ですね。第6次葛飾区男女平等推進計画等の策定について、資料の3から7を使ってご説明をよろしく願いいたします。

(3)「第6次葛飾区男女平等推進計画等の策定について

事務局より、資料3～資料7について説明

会 長：少し急がせてしまって申し訳ございませんでした。ご意見があるとは思いますが、どうしても今日ご質問なさいたいことがあったら。なるべく時間どおりに終わりたいんですけど。どうぞ。

委 員：今のところ調査に関してですが、このような状況になっていて、今、回収率や回答率がどのくらいになっているのか、あるいはあまり回答率、回収率が高くなければ、締め切りを延長するとかいうことなどは、ご検討はなさらないのでしょうか。それを伺いたいと思います。

事務局：現在の回答率ですけれども、郵送で400、それからネットで200というような状況でございます。目標といたしましては、前回は30%台だったものですから、もう少し上げたいなというところで、目標回収率としては1,600、5割以上のところを狙っていきたいなと思っております。締め切り等については、難しい部分があるかもしれないんですけども、状況については注視していこうかなと思っております。

会 長：まだ目標には、少し遠いかなって感じはあるんですが、また何らかの手段を考えていただいて、締め切り日を延ばすっていうことも一つあるでしょうし、働きかけのようなことはあるのかというのはございますか。

事務局：この実態調査につきましては、回答がない方等につきましては、一度督促をさせていただいている状況でございますので、また週明けには多く回収できることを期待して待ってたいなと思っております。ありがとうございます。

会 長：コロナの影響が大きいと思います。ご努力いただいているというふうに思います。私の不手

際もありまして、4時を過ぎてしまいました。会議はお約束した時間内に終わりたいと思います。実態調査等はまた機会がございますし、それから推進計画の議論の中で、国の動向とか、それから基本的な考え方、これでいいかというのをまたご議論いただきたいと思います。最後に、資料8の日程、大変忙しい日程になっておりますので、お覚悟をとる感じですが、ちょっとこれだけご説明ください、資料8。

9 次回開催日程等

事務局：資料8の2年度、3年度の審議会の開催の日程案でございます。次回開催につきましては、9月下旬ごろの開催を予定しております。また、その結果を踏まえて、3回目以降の日程等の確定をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。会長からお話があったとおり、審議会の開催日数につきましては多くなっております。忙しい中恐縮でございますが、よろしくお願いいたします。

10 閉会

会長：ご協力をよろしくお願いいたします。本日の審議会の議題は全て終了いたしました。大変活発にどんだんご意見、ご質問を出していただきました。次回以降もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。本当に長時間にわたり、今日はお疲れになったと思います。どうもありがとうございました。これで閉会にいたします。